

# おれんじ通信

14

知って支える認知症

寄り添い、  
支える⑧  
院内デイケアの  
取組み（市立東  
大阪医療センタ  
ー）

「上を向いて歩こう」。デイルームの一角から歌声が流れます。市立東大阪医療センターでは、入院による環境の変化を機に、認知機能が低



畑さん（写真⑧）とボランティアスタッフ

下し、生活機能が低下する患者さんのケアとして、平成28年から院内デイケアに取り組んでいます。

ある日のスケッチャーは、タオル体操や思い出の歌の唱歌、好きな写真を選んでのスクラップシート作りでした。ボランティアスタッフが患者さんの隣に寄り添い、様子を伺いながらさりげなく声をかけたり、作業の手伝いを行いました。「参加者の笑顔や「ありがとう、

楽しかった」の一言が、私たちのエネルギーの源です」と、ボランティアスタッフは話します。また、デイケアを担当する認知症看護認定看護師の畑真由美さんは、「医療的制限の多い中で、デイケアを通して五感をフルに活かし、心

身ともに活性化してもらいたい。一人ひとりがもっている力を見い出して病棟と共有することで、患者のより良いケアや、退院後の支援につながれば」と話しています。

◇ ◇  
次回は「寄り添い、支える⑨」です。なお、おれんじ通信への意見をお寄せください。  
地域包括ケア推進課 06(4309)3013、RX06(4309)3848